



第2期

袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略

2020-2025 令和2-令和7

2020（令和2）年度～2025（令和7）年度
数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の
実績値に対する検証

令和8年8月

袖ヶ浦市 企画政策部 計画推進課

I. 効果検証の趣旨等

1. 効果検証の趣旨

令和2年3月に策定した第2期袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第2期総合戦略」とする）は、4つの基本目標及びこれらの目標を横断する2つの共通目標を定め、基本目標ごとの数値目標及び基本的方向ごとの重要業績評価指標（KPI: Key Performance Indicator）を設定しています。

今回、2020年（令和2年）度から2025年（令和7年）度までの6年間の第2期総合戦略における取組の結果について、数値目標及びKPIの実績により成果や課題を検証することで、地方創生の更なる推進を図ろうとするものです。

なお、本計画期間中は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民生活や行政運営が大きな影響を受けるなど、計画策定時には想定していなかった社会の変化が生じたことから、これらの影響を十分に踏まえながら検証を行います。

2. 第2期総合戦略の概要

（1）第2期総合戦略策定の背景

国では、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生することを目指して、平成26年（2014年）度に長期ビジョン及び第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、その成果を踏まえ、令和元年（2019年）12月に第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地方創生のより一層の充実・強化に取り組んでいくこととしています。

本市においても、平成28年2月に袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第1期総合戦略」とする）を策定し、地方創生の推進を図ってきましたが、国が新たに示す視点や第1期総合戦略の効果検証を踏まえ、地方創生への課題解決を進めるため、第2期総合戦略を策定しました。

（2）総合戦略の位置づけ

総合戦略は、袖ヶ浦市人口ビジョンにおいて提示する本市の将来展望を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条の規定により、本市における「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」に一体的に取り組むため、今後の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

（3）対象期間と推進体制

第2期総合戦略の対象期間は、2020年（令和2年）度から2025年（令和7年）度までの6か年とし、全庁的な体制で地方創生の取組を推進するとともに、袖ヶ浦市総合計画審議会において取組状況を検証し、必要な改善を図りながら進めていくものとしています。

基本目標	基本的方向	具体的な施策
基本目標 1 結婚・出産・子育ての希望がかなうまち 袖ヶ浦	1. 結婚・出産・子育て支援の充実    	(ア) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実 (イ) 幼児期の教育・保育の充実 (ウ) 地域で子育てする仕組みの充実
	2. 学校教育の充実 	(ア) 教育環境の充実 (イ) 特色ある教育の推進
	1. 基盤産業である工業の持続的な振興  	(ア) 市内立地企業の競争力強化 (イ) 市外からの企業誘致の促進
	2. 未来を切り拓く力強い農業の実現   	(ア) 担い手の確保・育成と農地の集約化による有効活用 (イ) 農業の基盤及び競争力の強化
基本目標 2 いきいきと働くことができるまち 袖ヶ浦	3. 就労支援による「働く場」の創出  	(ア) 企業と人の効果的なマッチングによる雇用促進 (イ) 誰もが働きやすい環境の実現
	1. 人を惹きつける魅力ある観光・商業の推進  	(ア) 観光振興による交流人口の拡大 (イ) 商業振興による交流人口の拡大
	2. 人・資金の流れの強化   	(ア) 働く世代を中心とした移住・定住の促進 (イ) 関係人口の創出・拡大 (ウ) 新たな資金の流れの創出・拡大 (エ) 地域資源を活用した効果的かつ継続的なシティプロモーション
	1. 活発でまとまりのある都市づくりの推進  	(ア) 快適で暮らしやすいコンパクトなまちの形成 (イ) 持続的な交通ネットワークの形成 (ウ) 公共施設等の計画的、効果的な利用 (エ) 広域連携の推進
基本目標 3 訪れる人も満足できるまち袖ヶ浦	2. 健康で元気に暮らせる保健・福祉環境の整備  	(ア) 市民の健康づくり活動の支援 (イ) 地域における支え合い体制の確立
	3. 安全で安心な地域づくり  	(ア) 防災力の充実 (イ) 防犯体制の充実 (ウ) 交通安全の推進
	1. 地域コミュニティの活性化の推進   	
	2. 誰もが活躍できる地域社会づくりの推進     	
基本目標 4 安心して暮らせるまち袖ヶ浦	1. Society5.0の実現に向けた技術の活用   	
	2. SDGsの達成に向けた地方創生の推進	
【共通の目標 1】 地域がつながり、多様な人材が活躍するまちづくりの推進		
【共通の目標 2】 新しい時代の流れを力にするまちづくりの推進		

Ⅱ. 第2期総合戦略 数値目標及びKPIの効果検証

基本目標1 ～結婚・出産・子育ての希望がかなうまち 袖ヶ浦～

国や県と連携しながら、結婚、出産、子育てに関する希望や理想実現を支援するとともに、子どもが欲しいと考える市民を後押しすることで、市民の結婚や出産、子育てに関する希望がかなうまちを目指します。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
合計特殊出生率	1.67 (H30)	1.40 ※R6 参考値	1.74 (R6)
安心して子育てができると思う人の割合	73.5% (R1)	76.9%	77.0%

※合計特殊出生率は、9月に千葉県が公表するため、昨年の出生率を参考値としています。

●数値目標実績値

- ・「合計特殊出生率」は、目標値を下回り、達成することができませんでしたが、令和4年には千葉県内市町村の中で1位を記録するなど、計画期間を通じて高水準を維持しています。
- ・「安心して子育てができると思う人の割合」は、最終年度では目標値を下回り、達成することができませんでしたが、令和2年度から6年度の期間では目標値を上回る年度が続いており、取組により一定の成果が認められます。

基本的方向 1 結婚・出産・子育て支援の充実

本市は、子育て世帯の転入などに起因した社会増加により人口が増加を続けてきましたが、近い将来に人口減少局面を迎えることが予想されています。

今後予想される少子化や人口減少に対応していくためには、社会増加への取組に加え、出生率を高めるための取組が重要となります。

本市の出生率は県内平均を上回っている状況が続いていますが、今後においても、本市の恵まれた子育て環境の中で、より多くの方に、結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを生み育ててもらうために、出会いから結婚・出産・子育てまで切れ目ない総合的な支援を行います。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
婚姻届の件数（年間）	604 件 (H30)	592 件	700 件
待機児童数（4 月 1 日現在）	28 人 (R1)	0 人	0 人
ファミリーサポートセンターの援助件数（年間）	491 件 (H30)	424 件	560 件

（年間）は、当該年度の集計値

●計画期間中に実施した主な取組

- ・結婚支援事業【婚活セミナーの開催、婚活イベント・結婚相談の実施】
- ・不妊治療費等助成事業【不妊治療費助成、検査費助成、対象者拡大の要綱改正】
- ・子育て世代包括支援事業【こども家庭センターでの相談受付、支援】
- ・放課後児童クラブ支援事業【平岡・昭和・蔵波・奈良輪小区クラブ開所】
- ・平川地区幼保連携推進事業【認定こども園整備】
- ・母子手帳アプリ♡そでふぁむの開始

●実績と検証

「婚姻届の件数」は、人口減少及び未婚化の進行という社会情勢を背景とし、目標値を下回り、達成することができませんでした。計画期間中の結婚相談所登録者の成婚数が25件となるなど、結婚支援事業により、一定の下支え効果があったものと考えられます。

「待機児童数」は、令和6年度に私立保育施設等が開設されたことにより、目標値を達成することができました。

「ファミリーサポートセンターの援助件数」は、年による増減があり、目標値を上回る年も見受けられましたが、最終年度においては目標値を下回り、達成することができませんでした。

今後、未婚化や晩婚化の進行により少子化の更なる加速が懸念されるた

め、引き続き国や県と連携を図りながら、結婚を望む人への出会いの場の創出や、妊娠から出産・子育てまで切れ目のない支援体制を充実させ、市民の結婚・出産・子育てに関する希望や理想の実現につなげる必要があります。

基本的方向 2 学校教育の充実

長い期間をかけて培われてきた本市の特色である教育の更なる充実に向けて、「生きる力」を育む学校教育の要素となる「確かな学力」や「豊かな心」、「健やかな体」のバランスの取れた児童生徒の育成に努めます。

親が子どもの将来に希望が持て、子どもが未来に向けて、自らの人生を拓き、生き抜いていくための力を培っていくため、今後も引き続き、基礎・基本の確実な習得による確かな学力の向上、豊かな人間性を育む心の教育の充実、家庭や地域の教育力を生かした教育を推進します。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合	88.4% (H30)	88.9%	90.0%
「挨拶がよくできる」児童生徒の割合	87.9% (H30)	87.9%	90.0%

●計画期間中に実施した主な取組

- ・小中学校基礎学力向上支援教員配置事業【基礎学力向上支援教員の配置】
- ・小中学校特別支援教員活用事業【全小中学校への特別支援教員の配置】
- ・小中学校体験活動推進事業【全中学校で自然体験活動を実施】
- ・小中学校情報教育推進事業【教育情報化推進計画に基づく情報教育機器の整備】
- ・学校 ICT 教育支援事業【ICT 機器及び学習ソフトの活用支援】
- ・奈良輪小学校校舎増築事業【奈良輪小学校増築校舎整備】
- ・蔵波小学校校舎増築事業【蔵波小学校増築校舎整備】
- ・昭和中学校校舎増築事業【昭和中学校増築校舎整備】
- ・学校環境整備事業【小中学校のトイレ改修工事】
- ・子どもを育む、学校・家庭・地域連携事業【学校支援ボランティアの募集】
- ・児童・生徒指導センター運営事業【不審者対応訓練への協力、防犯教室の実施】
- ・こども議会の開催

●実績と検証

「学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合」は、目標値を下回り、達成することができませんでしたが、年による増減があり、目標値を上回る年も見受けられました。引き続き、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善や読書教育、体験活動を推進するとともに、ICT 機器を効果的に活用しながら、情報モラル教育を含む情報活用能力を育成し、生きる力を育む学校教育の推進が求められます。

「『挨拶がよくできる』児童生徒の割合」は、目標値を下回り、達成することができませんでしたが、一定の水準は維持されています。今後も、一人ひと

とりを大切にする教育、地域や家庭に開かれた学校づくりを進め、子どもが健やかに過ごせる環境や、その成長を地域全体で支える環境づくりに取り組む必要があります。

基本目標２ ～いきいきと働くことができるまち 袖ヶ浦～

本市の基盤産業である工業や農業の持続的発展を図り、市内産業で多くの働く場・機会を確保するとともに、さまざまな業種・業態の「しごと」によって多くの人を惹きつけ、市民がいきいきと安定的・長期的に働くことができるまちを目指します。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
創業件数（年間）	8 件 (H30)	16 件	10 件
新規就農者数（年間）	2 人 (H30)	5 人	2 人
市内の職場が働きやすい（働きやすそう） と感じる市民の割合	47.1% (R1)	54.3%	48.9%

（年間）は、当該年度の集計値

●数値目標実績値

- ・「創業件数」は、令和３年度以降目標値を上回り、達成することができました。
- ・「新規就農者数」は、目標値を上回り、達成することができました。
- ・「市内の職場が働きやすい（働きやすそう）と感じる市民の割合」は、目標値を上回り、達成することができました。

基本的方向 1 基盤産業である工業の持続的な振興

本市の特色である、全国有数の工業が立地する臨海部のコンビナートや椎の森工業団地は、市の産業の根幹を支えるとともに、雇用、税収面でも多大な役割を担っています。

本市に立地する企業が地域に根差し、本市の産業を先導していけるよう、企業が事業活動しやすい環境整備に取り組み、本市に立地する価値を高めていきます。

また、市内の中小企業の生産性の向上や競争力の強化、創業支援、事業承継対策などの支援に取り組み、地域経済の好循環を推進します。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
企業振興条例指定件数（年間）	2 件 (H30)	10 件	5 件
進出希望企業と土地所有企業のマッチング 成立数（累計）	0 件 (R1)	—	2 件

（年間）は、当該年度の集計値

（累計）は、基準値からの増減の集計値

●計画期間中に実施した主な取組

- ・企業等振興支援事業【企業振興条例及び椎の森工業団地企業立地促進条例に基づく奨励制度の運用、企業振興条例改正（カーボンニュートラル関連）】
- ・中小企業支援事業【融資及び利子補給制度の運用、キャッシュレスポイント還元事業、中小企業向けの相談窓口設置】
- ・産業用地利活用推進事業【産業用地利活用に関する調査】

●実績と検証

「企業振興条例指定件数」は、県や近隣市、各企業と連携して、規制緩和、操業の合理化等について検討を行うとともに企業からの相談に対応したことにより、目標値を上回り、達成することができました。引き続き、事業所の新規立地や大規模設備投資を進めるとともに、カーボンニュートラルの実現に向けた取組や成長分野への投資促進に加え、工場用地を有効的に活用し、力強い工業の推進が求められます。

「進出希望企業と土地所有企業のマッチング成立数」は、産業用地利活用についてのアンケート調査の結果、大規模の未利用地情報は新たに見出せず取組が広がる状況にないことから、令和2年度で事業を終了したため、実績はありません。

中小企業の経営基盤の安定化のため、融資や利子補給制度による資金面での支援を行うとともに、事業承継、事業継続及びDX支援等に取り組み、産業の振興及び企業の持続的発展につなげる必要があります。

基本的方向 2 未来を切り拓く力強い農業の実現

本市は、肥沃な大地や温暖な気候などの恵まれた自然環境に加え、首都圏に位置するという立地性から、水稻、野菜、果樹、酪農、養鶏などが盛んに行われていますが、農家の高齢化による担い手の不足や災害のリスクなど、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

このような中、本市の農業の未来を切り拓くため、豊かな地域資源を活かした農業ビジネスを強化し、収益性の高い農業経営を展開しながら、担い手の育成や農業基盤整備、付加価値を持った農畜産物づくりなどに取り組み、力強い農業への転換を図るとともに、収穫体験などの農業体験を通じて交流人口の増加を図ります。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
認定農業者数（累計）	159 人 (H30)	228 人	225 人 ^{※1} 192 人
地域計画（旧 人・農地プラン）作成件数（累計） ^{※2}	6 件 (H30)	11 件	9 件
6次産業化の取組件数（累計）	5 件 (H30)	13 件	10 件 ^{※3} 8 件

（累計）は、基準値からの増減の集計値

※1 実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R3 年度検証時）

※2 R5 年度に人・農地プランから地域計画に名称が変更されました。（R5 年度検証時）

※3 実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R4 年度検証時）

●計画期間中に実施した主な取組

- ・担い手育成・支援対策事業【地域計画（旧 人・農地プラン）策定推進】
- ・新規就農者支援対策事業【新規就農者育成事業補助の実施】
- ・土地改良推進事業【大鳥居地区】
- ・農畜産物の魅力向上事業【イベントでの農産品の PR、6 次産業化取組支援】
- ・体験農園支援事業【市内の体験農園等の PR、体験農園開設希望者の支援】

●実績と検証

「認定農業者数」は、目標値を上回り、達成することができました。

「地域計画（旧 人・農地プラン）作成件数」は、集落との協議や説明会を重ねた結果、令和 6 年度に目標値を上回り、達成することができました。

「6 次産業化の取組件数」は、機械導入支援等により、目標値を上回り、達成することができました。

農業者の高齢化や担い手の減少が進行する中で、引き続き、農林業基盤整備等による効率的な農民生産、農地集積による魅力的な農畜産物の生産を図るとともに、スマート農業や ICT の活用による農作物被害の軽減に向けた取組など、デジタルの視点を取り入れた農業経営体制の強化や農地環境対策を進める必要があります。また、市民が農業に親しみ、市外からは人を呼び込めるよう、体験農園の周知等、農業と触れ合う機会の拡大が求められます。

基本的方向 3 就労支援による「働く場」の創出

多くの人々が市内に定住するため、安定した所得を得ることができるよう、雇用機会の確保に努めます。

一方、市内企業においても働き手不足が深刻な課題となっており、高い生産性と労働者の満足度の双方を実現していくような働き方や、女性や高齢者など多様なライフスタイルに応じた働き方を実現する雇用形態の導入への意識啓発を図り、働き手不足の解消に努めます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
就労マッチングへの参加人数（年間）	97 人 (H30)	174 人	125 人
就労マッチングによる就職者数（年間）	0 人 (H30)	11 人	10 人

（年間）は、当該年度の集計値

●計画期間中に実施した主な取組

- ・雇用促進事業【高校生を対象とした合同会社説明会・見学会の開催、一般向けの合同会社面接会の開催、市内 PR 動画の作成及び近隣高校への提供】
- ・介護人材確保育成支援事業【研修受講費助成、資格取得費助成】
- ・多様なニーズに応じた保育サービス事業【一時預かり・延長・休日・病児・病後児保育の実施】
- ・就労支援事業【関係機関と連携したセミナー（若者向け・女性向け・中高年向け）の開催、ニート引きこもり等の職業的自立相談会の開催】
- ・シルバー人材センター支援事業【補助金の交付、運営支援】
- ・コワーキングスペース開設支援事業【開設補助金の交付】

●実績と検証

「就労マッチングへの参加人数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により低迷する時期があったものの、令和5年度以降、対面形式の企業説明会を再開した結果、達成することができました。

就労マッチングへの参加人数が増加したことに伴い、「就労マッチングによる就職者数」も目標値を上回り、達成することができました。

引き続き、市内事業者の雇用機会と人材を確保するため、企業説明会を開催するとともに、若者の定住促進も視野に入れたマッチング支援が求められます。また、ハローワーク、ジョブカフェ等の関係機関との連携や、働き方の多様化に対応する就労環境の充実により、年齢、性別、世代に関わらず希望する形での就労の実現を目指すことが必要です。

基本目標3 ～訪れる人も満足できるまち 袖ヶ浦～

豊かな自然や観光資源などを最大限に活かし、地域の活性化と魅力向上を図り、本市に住むことの魅力を高め、家族や友人などに誇れるまちとすることで、転入促進と転出抑制につなげるとともに、県内外から袖ヶ浦市に人を呼び込み、訪れる観光客が満足できるまちを目指します。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
年間観光入込客数（年間）	177 万人 (H30)	180 万人	185 万人
人口動態における社会増減数	— (R1)	2,953 人	2,500 人※ 4,500 人 (期間合計)
本市に今後も「住み続けたい」と思う市民の割合	87.0% (R1)	90.2%	90.0%

（年間）は、当該年度の集計値

「人口動態における社会増減数」については、令和元年度からの増減を数値目標としています。

※実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R4 年度検証時）

●数値目標実績値

- ・「年間観光入込客数」は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて低迷し、目標値を下回り、達成することができませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の収束後においては増加傾向となり、取組の成果が着実に表れています。
- ・「人口動態における社会増減数」は、袖ヶ浦駅海側地区の都市基盤整備等により、目標値を上回り、達成することができました。
- ・「本市に今後も『住み続けたい』と思う市民の割合」は、目標値を上回り、達成することができました。

基本的方向 1 人を惹きつける魅力ある観光・商業の推進

本市は東京湾アクアラインの活用により都心からのアクセス性が高いうえ、東京ドイツ村や多くの若者を動員する音楽イベント、観光農園などの市外から人を呼び込める観光資源や、自然が多く残された里山や美しい景観、のどかな田園地帯などの地域資源があり、都会にはない観光地としての魅力を有しています。

今後も持続的に人が集うために、趣味やレジャーの多様化により変化している観光客のニーズに対応するとともに、本市が有する強みや地域の特性を活かして、これまで以上に人々が行き交い、にぎわいのあるまちとしての魅力を高める取組を推進します。

また、市の商業振興を担う商工会を中心に、市内の商業者のネットワークを広げ、にぎわいと交流のある商業のまちを目指します。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
年間観光入込客数（年間）【再掲】	177 万人 (H30)	180 万人	185 万人
特産推奨品認定数（累計）	6 品 (H29)	14 品	10 品※ 8 品
一店逸品・そでジョブ参加事業者数（年間）	28 店 (H30)	13 店	33 店

（年間）は、当該年度の集計値 （累計）は、基準値からの増減の集計値
※実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R4 年度検証時）

●計画期間中に実施した主な取組

- ・袖ヶ浦市観光協会活動支援事業【観光協会への補助金交付、運営支援、袖ヶ浦駅北口広場を活用した季節に応じたイベントの開催】
- ・観光情報発信事業【デジタル観光ガイドマップの運用、SNS を活用した情報発信】
- ・観光・直売型農業推進事業【収穫体験の開催、地元農産物の PR 販売】
- ・地域回遊促進事業【レンタサイクルの運営、サイクルツーリズムの推進、御城印発行事業】
- ・商店街魅力向上事業【一店逸品事業、商工会が行う市民交流活動への支援、そでジョブの開催、テイクアウト支援】
- ・そでがうらまつり～アレワイサノサ～の開催

●実績と検証

「年間観光入込客数」は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて低迷したものの、新型コロナウイルス感染症の収束後においては増加傾向となっており、引き続き、各種 SNS や、デジタル観光ガイドマップを活用し、観光情報の効果的な発信を行うとともに、観光振興に向けた体制づくりが必要です。

「特産推奨品認定数」は、令和７年度に新たに認定を行い、目標値を上回り、達成することができました。

「一店逸品・そでジョブ参加事業者数」は、目標値を上回った年もあったものの、商工会が主催していた「そでジョブ」が令和６年度以降未開催となった影響を受け、目標値を下回り、達成することができませんでした。

今後は、地域資源を活用し、自然と都市機能が調和した観光地としての魅力を高め、観光事業の健全な振興を図る必要があります。また、公園・緑地の活用やスポーツツーリズムの推進など、多様な観光資源を生かした取組の展開により市外からの来訪者を呼び込み、地域活性化を推進していくことが求められます。

基本的方向 2 人・資金の流れの強化

本市は、子育て・教育の充実、全国有数の工業や大地が育む農業をはじめとする各産業、魅力を感じられる住宅地や身近な生活ニーズに対応できる商業地などがバランスよく配置され、都心部への利便性の高い交通アクセスや多様な地域資源などを有しています。

このような本市が有する強みや地域の特性を活かして、働く世代を中心とした移住・定住促進や、交流人口・関係人口の創出・拡大、新たな資金の流れの強化、シティプロモーションの取組を進め、人が集まる活気あるまちづくりを進めます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
世代間支え合い家族支援制度利用者数（年間）	14 人 (H30)	3 人	13 人
ふるさと納税寄附金額（年間）	35,515 千円 (H30)	95,400 千円	72,129 千円 ^{※1} 69,460 千円
千葉県・東京都・神奈川県での市の認知度	44.1% (R1)	43.5%	32.3% ^{※2} 50.0%

（年間）は、当該年度の集計値

※1 実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R5 年度検証時）

※2 「そでがうらシティプロモーション戦略基本方針」の中間評価において、調査エリアを拡大したことに合わせ目標値を見直しました。（R4 年度検証時）

●計画期間中に実施した主な取組

- ・空家等対策事業【空家バンク制度の運用】
- ・田園空間施設維持管理事業【田んぼの学校、収穫体験】
- ・都市公園交流機会創出事業【公園まつりの実施、ネーミングライツ施設の導入】
- ・山野貝塚保存活用事業【史跡の維持管理、整備基本設計、発掘調査】
- ・スポーツツーリズム推進事業【各種大会の誘致及び開催協力】
- ・ふるさと納税推進事業【新たな返礼品の追加】
- ・シティプロモーション推進事業【テレビ番組公開収録やメディア出演など各種媒体を活用した PR、市内周遊型イベントの実施】

●実績と検証

「世代間支え合い家族支援制度利用者数」は、年による増減があり、目標値を上回る年も見受けられたものの、最終年度においては達成することができませんでした。

「ふるさと納税寄附金額」は、返礼品掲載 WEB サイトの拡充や、イベントと連携した魅力的な返礼品の追加により、目標値を上回り、達成することができました。

「千葉県・東京都・神奈川県での市の認知度」は、YouTube 動画やテレビ・ラジオ、PRTIMES 等のメディアを活用した情報発信により、目標値を上回り、達成することができました。

引き続き、各種メディアを活用した情報発信により、シティプロモーション

ンの更なる展開を図ることで、転入促進と転出抑制につなげるとともに、県内外から人を呼び込み、多くの人でにぎわう活気あるまちを目指すことが求められます。また、ふるさと納税のより一層の促進により、持続可能な財政運営を行うことが必要です。

基本目標4 ～安心して暮らせるまち 袖ヶ浦～

必要な機能を一定の地域にコンパクトに集約し、各拠点間の交通ネットワークの充実に努めるとともに、既存の公共施設等の計画的・効果的な活用を図るなど、ストックマネジメントに取り組むことで、質の高い暮らしのための都市づくりを推進します。

また、地域における保健・福祉環境の整備や、防災・防犯、交通安全の取組を進め、安心して暮らせるまちを目指します。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
住環境が快適であると思う市民の割合	52.7% (R1)	52.6%	61.0%
地域で支え合って安心して暮らしている市民の割合	59.1% (R1)	61.2%	65.0%
日頃から災害への備えをしている市民の割合	49.7% (R1)	64.5%	60.0%

●数値目標実績値

- ・「住環境が快適であると思う市民の割合」は、目標値を下回り、達成することができませんでした。
- ・「地域で支え合って安心して暮らしている市民の割合」は、目標値を下回り、達成することができませんでした。
- ・「日頃から災害への備えをしている市民の割合」は、目標値を上回り、達成することができました。

基本的方向 1 活発でまとまりのある都市づくりの推進

人口減少社会にあっても、市が継続的に成長するためには、長期的な視点に立った都市基盤の整備と、地域と地域を連携し、人と人の交流を支え、新たな価値を生み出す地域づくりを進めることが重要です。

人口減少社会に対応するために、中心市街地や内陸部の住宅地、集落地等の地域特性に応じたコンパクトで良好な市街地の形成と、各拠点間の道路網や交通ネットワークの構築による計画的なまちづくりを進め、集約型都市構造の形成を図ります。

地域社会で必要とされる公共施設等の適正配置・適正規模化等と財政健全化を両立させるための検討を進めます。

事務の効率性や有効性といった観点から、国において広域行政への取組が推進されており、必要に応じて広域連携の取組を進めていきます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
良好なまち並みや景観が形成されていると思う市民の割合	54.8% (R1)	59.1%	61.0%
都市計画道路の整備率	84.9% (R1)	85.9%	86.7%
路線バス利用者数（補助路線）	176,945人 (H30)	226,945人	178,000人

●計画期間中に実施した主な取組

- ・市街化調整区域土地利用適正誘導事業【地区計画制度の周知、まちづくりの検討支援（袖ヶ浦駅西側地区）】
- ・西内河根場線建設事業【道路改良工事（県事業）】
- ・地域公共交通づくり事業【バス路線維持の補助金交付、デマンド交通の実証運行】
- ・高齢者移動支援事業【高齢者タクシー利用券の助成】
- ・ファシリティマネジメント推進事業【公共施設等総合管理計画・公共施設再配置方針の進行管理、幽谷分校利活用事業者優先交渉権者の決定】
- ・次期広域廃棄物処理事業【土木建築工事の継続、プラント工事の着工】
- ・高須箕和田線建設事業（南袖延伸）【道路築造工事、舗装新設工事】
- ・火葬場整備事業【火葬場の供用開始】

●実績と検証

「良好なまち並みや景観が形成されていると思う市民の割合」は、目標値を下回り、達成することができませんでしたが、概ね上昇傾向にありました。より一層、計画的なまちづくりを推進し、市街地整備の促進や良好な景観形成を図ることが必要です。

「都市計画道路の整備率」は、千葉県事業である西内河根場線建設事業の

進捗に遅れが生じたことにより、目標値を下回り、達成することができませんでした。

「路線バス利用者数（補助路線）」は、公共交通マップの作成や市内イベントでのPR活動等により、目標値を上回り、達成することができました。引き続き、デマンド型乗合送迎サービスの実証運行や自動運転の導入に向けた調査・研究を行い、拠点間及び地域間を移動しやすい公共交通ネットワークの形成を推進し、地域全体で支え合う持続可能な公共交通網の構築が求められます。

基本的方向 2 健康で元気に暮らせる保健・福祉環境の整備

市民一人ひとりが主体的に健康の保持・増進に取り組み、健康寿命を延伸する意識づくりを進めます。

性別や年齢などを問わず、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して充実した生活を送れるよう、身近な地域の特性に合わせた活動の実施や世代間交流・地域交流の場づくりなどを支援し、地域での支え合い体制づくりなどの環境整備を進めます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
日常生活のなかで意識的に運動をしている人の割合	52.1% (R1)	44.2%	78.0%
住民主体型サービス活動団体数（累計）	4 団体 (H30)	18 団体	11 団体※ 8 団体

（累計）は、基準値からの増減の集計値

※実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R4 年度検証時）

●計画期間中に実施した主な取組

- ・ 特定健康診査等事業・特定保健指導事業【特定健康診査・特定保健指導の実施】
- ・ 健康づくり推進事業【シニア運動教室及び健康相談等の実施】
- ・ 一般介護予防事業【介護予防の普及啓発、はつらつシニアサポーターの養成】
- ・ 生活支援体制整備事業【生活支援コーディネーターの配置】
- ・ 認知症サポーター要請等事業【養成講座・ステップアップ研修の開催】
- ・ 高齢者見守りネットワーク事業【協力事業者・関係団体の拡大】
- ・ 介護予防・生活支援サービス事業（住民主体型サービス）【助け合いサービス補助金交付】
- ・ 包括支援センターの体制強化【長浦地区、平川地区、昭和・根形地区での包括支援センターの開設】

●実績と検証

「日常生活のなかで意識的に運動をしている人の割合」は、健康づくり支援センター等における運動習慣の獲得に向けた教室の実施や周知を行ったものの、目標値を下回り、達成することができませんでした。より一層、市民一人ひとりが心身の健康に関心を持ち、健康づくりに主体的に取り組めるよう、健康づくりへの支援や疾病の予防・早期発見・早期治療に向けた取組の推進が必要です。

「住民主体型サービス活動団体数」は、生活支援コーディネーターの相談対応による立ち上げ支援等により、目標値を上回り、達成することができました。地域の連携促進や生活支援を行うことにより、市民誰もが安心して、自分らしい生活を送ることができる環境づくりが求められます。

基本的方向 3 安全で安心な地域づくり

誰もが安全・安心に住み続けていくためには、災害に強く、犯罪が少ないことなどが市民にとって住みよさの前提となります。

災害への備えと発生時の対応力の向上を図るため、自助・共助・公助の連携による地域防災力の充実に取り組むとともに、消防・防災体制の強化に努め、災害に強い安全で安心な地域づくりを進めます。

また、市民、警察、行政等の連携による地域に密着した防犯活動や交通安全意識の向上を図り、市民が安全・安心に暮らせることができるよう取り組みます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
自主防災組織結成数（累計）	74 組織 (H30)	80 組織	81 組織
自主防犯組織の設立数（累計）	41 団体 (H30)	43 団体	46 団体
交通安全教室・講習会の延べ参加者数	11,148 人 (H30)	5,839 人	9,779 人

（累計）は、基準値からの増減の集計値

●計画期間中に実施した主な取組

- ・庁舎整備事業【北庁舎・南庁舎建設工事、既存新庁舎（中庁舎）耐震補強及び大規模改修工事】
- ・災害情報等伝達手段確保事業【防災行政無線・IP 無線の維持管理、県防災行政無線再整備】
- ・地域防災力向上事業【自主防災組織結成の促進、災害対策コーディネーター養成講座の開催】
- ・防災体制の強化【総合ハザードマップの作製・配布、防災タワーの配備】
- ・防犯対策推進事業【防犯情報の周知、街頭防犯カメラ・防犯灯の設置】
- ・交通安全対策事業【交通安全教室の実施】
- ・水防事業【危機管理型水位計・河川カメラの設置】

●実績と検証

「自主防災組織結成数」は、全国的な高齢化に伴う担い手不足が課題となる厳しい状況下において、目標値を下回り、達成することができませんでした。全体としては増加傾向で推移しています。今後は、地域において「共助」の中核を担う同組織への支援強化とともに、活動の中心となる人材の育成が求められます。

「自主防犯組織の設立数」においても同様の課題を抱えており、新たな設立は見られたものの、高齢化を背景とした廃止もあり、目標値を下回り、達成することができませんでした。

「交通安全教室・講習会の延べ参加者数」は、学校等への開催希望の照会

や、窓口でのチラシ配布、他のイベントとの共同開催等により参加者数の向上を図りましたが、目標値を下回り、達成することができませんでした。

今後は、防犯体制の更なる充実、啓発活動及び交通安全教室の効果的な実施等を通じて防犯・交通安全に対する市民意識の醸成を図り、市民が安全で安心して暮らせるまちを目指す必要があります。

共通の目標 1

～地域がつながり、多様な人材が活躍するまちづくりの推進～

地域内のコミュニティを活性化させるため、地域に関わる一人ひとりが地域の担い手として積極的に地域活動に参加し、地域の実情に応じた、地域で支え合う体制づくりを推進します。

また、女性、高齢者、若者などが交流し、誰もが役割を持ち、多様な人材が活躍できる地域づくりを推進します。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
まちづくりに関心のある市民の割合	66.7% (R1)	67.1%	72.0%
地域活動に参加している（したことがある） 市民の割合	51.9% (R1)	48.8%	64.0%

●数値目標実績値

- ・「まちづくりに関心のある市民の割合」は、年による増減があったものの、目標値を下回り、達成することができませんでした。
- ・「地域活動に参加している（したことがある）市民の割合」は、目標値を下回り、達成することができませんでした。

基本的方向 1 地域コミュニティの活性化の推進

近年では、自治会や市民活動団体等の地域コミュニティ活動は、防災活動や災害時の援護活動、地域福祉活動、清掃活動、公園の維持管理活動など、様々な分野に広がっており、地域課題の解決に重要な役割を担っています。

市民一人ひとりが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らし続けることができるよう、地域における人のつながりを深め、市民相互の交流による活力あふれるコミュニティを形成するとともに、市民自らが主体的に地域コミュニティに参加し、市民・地域・事業者・行政など様々な主体が互いに連携・協力して、住みやすいまちづくりを促進します。

また、市民一人ひとりが生きがいを持って暮らせる地域をともにつくっていくため、身近な地域の特性に合わせた活動の実施や世代間交流・地域交流の場づくりなどを支援し、地域における支え合いの仕組みづくりを進めます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
自治会加入率	62.8% (R1)	54.4%	66.0%
人材活用制度の登録者の活動回数（年間）	0回 (R1)	—	20回

（年間）は、当該年度の集計値

●計画期間中に実施した主な取組

- ・自治振興対策事業【自治会運営・自治会結成の支援】
- ・まちづくり活動促進事業【まちづくり講座の開催】
- ・地域まちづくり協議会支援事業【長浦地区まちづくり協議会の運営支援、中富地区まちづくり協議会の設立支援、根形地区まちづくり協議会の交流会開催】
- ・市民協働推進事業【協働事業提案制度の実施、協働のまちづくり推進計画の策定】
- ・地域人材育成講座【各種講座の実施】
- ・地域の活動拠点「交流センター」を設置
 - ・市民活動サポートセンター（そでのわ）・市民協働会議室（そでふれば）の設置

●実績と検証

「自治会加入率」は、全国的に低下傾向となる中、本市においても未加入世帯の増加や会員の高齢化による自治会解散等の影響で低下が進み、目標値を下回り、達成することができませんでした。

「人材活用制度の登録者の活動回数」は、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けて活動が無い期間を経て、令和6年度に制度の見直しを行い、活動団体への幅広い支援として、市民活動サポートセンター「そでのわ」を開設し、地域コミュニティ活動に関する情報提供と相談機能の充実を図る取組

を推進したため、実績はありません。

市民が地域のまちづくりに関心を持ち、地域コミュニティ活動への参加が主体的に行われるよう、地域コミュニティの重要性について意識啓発を行うとともに、自治会 DX の推進等により市民の負担を軽減し、活動に参加しやすい環境づくりが求められます。また、地域の多様な団体と連携を図り、活動を支援することで、地域の活性化や課題解決につなげる必要があります。

基本的方向 2 誰もが活躍できる地域社会づくりの推進

人口減少や少子高齢化の進行、女性の就労機会の拡大、外国人訪問者の増加と定住化の進展など、社会の価値観の多様化が進む中で、本市の活力を維持・発展させるために、市民の誰もが生きがいを持って、それぞれの持つ力を活かすことができ、本人の希望に応じて活躍できるまちづくりを進めます。

また、性別、国籍等の違いに対する市民の理解を深め、あらゆる分野においてその個性や能力を発揮して活躍できる地域社会の実現に取り組みます。

◇重要業績評価指標（KPI）の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
就労支援セミナー・相談会参加者数（年間）	17 人 (H30)	2 人	23 人
就労マッチングによる就職者数（年間）【再掲】	0 人 (H30)	11 人	10 人
男女共同参画セミナー等の参加者数（年間）	120 人 (H30)	280 人	540 人※ 430 人

（年間）は、当該年度の集計値

※実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R5年度検証時）

●計画期間中に実施した主な取組

- ・生活困窮者自立支援事業【相談支援員・就労支援員の配置、重層的支援体制整備事業との連携】
- ・男女共同参画推進事業【各種セミナーの開催、パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の運用】
- ・多文化共生推進事業【ホームページの生活支援情報の多言語化、日本語教室開催支援】
- ・国際交流推進事業【国際交流イベント等の開催、国際交流協会及び市民活動団体の活動支援】
 - ・市民活動サポートセンター（そでのわ）・市民協働会議室（そでふれば）の設置

●実績と検証

「就労支援セミナー・相談会参加者数」は、関係機関や近隣市と連携し、多様な世代を対象とした各種セミナーを開催した一方、千葉県ジョブサポートセンターによる「出張相談会」が、令和 4 年度以降は未開催となり、目標値を下回り、達成することができませんでした。

「就労マッチングによる就職者数」は、「就労マッチングへの参加人数」の増加に伴い、目標値を上回り、達成することができました。引き続き、就業機会の拡大が必要です。

「男女共同参画セミナー等の参加者数」は、目標値を下回り、達成するこ

とができませんでした。今後は、市民のニーズに応じた多様な生涯学習の場の提供や、図書館サービスの充実、地域活動を担うボランティアの育成等により、一層の生涯学習及び社会教育の充実が求められます。年齢・性別・障がいの有無や国籍等に関わらず様々な人々が交流し、誰もが役割を持ち、多様な人材が活躍できる地域づくりの推進が必要です。

共通の目標 2

～新しい時代の流れを力にするまちづくりの推進～

Society5.0の実現に向けた技術（未来技術）の進展は、人口減少や少子高齢化の課題に対処することや、モノやサービスの生産性や利便性を飛躍的に高め、産業や生活等の質を大きく変化させるものと期待されているところであり、本市においても取組を推進していきます。

また、持続可能な開発目標（SDGs）の理念（「誰一人取り残さない」社会の実現）を踏まえ、地方創生の推進を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

◆数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R7)	目標値
ICT化により効率的な行政サービスが提供されていると感じている市民の割合	10.3% (R3)	58.4%	75.0%※ 20.0%
SDGsを認知している市民の割合	—	85.6%	100%※ 60.0%
SDGsを実践している市民の割合	—	66.2%	80.0%※ 25.0%

数値目標については、目標を明確化することにより、Society5.0とSDGsに関わる事業への取組を推進するため、令和3年度に追加しました。

※実績値が目標値を上回ったため、目標値を見直しました。（R4年度検証時）

●数値目標実績値

- ・「ICT化により効率的な行政サービスが提供されていると感じている市民の割合」は、目標値を下回り、達成することができませんでしたが、増加傾向にあり、取組の成果が着実に表れています。
- ・「SDGsを認知している市民の割合」は、目標値を下回り、達成することができませんでしたが、概ね増加傾向となっています。
- ・「SDGsを実践している市民の割合」は、目標値を下回り、達成することができませんでしたが、概ね増加傾向となっています。

基本的方向 1 Society5.0 の実現に向けた技術の活用

現在、国において、医療・教育などの様々な分野での ICT 利活用推進や、交通と宿泊等の関連する複合的なサービスを一体的なサービスとして提供する MaaS、施設立地の最適化等により課題解決を加速化させるスマートシティなど、様々な分野で今後の地方創生に新しい技術を活用する検討が進められています。

本市においても、人材不足等の課題解決や効率的・効果的な行財政運営を図るため、国のデジタルトランスフォーメーション推進の動向を注視しながら、教育、医療、交通、サービス業、農林業など様々な分野でも新しい技術を活用した取組を検討し、地方創生の取組の一層の充実・深化につなげます。

●計画期間中に実施した主な取組

- ・全庁 LAN システム再整備事業【全庁 LAN 無線化、セキュアプリントの運用】
- ・標準化対応基幹情報システム導入事業【ガバメントクラウド接続準備】
- ・学校 ICT 教育支援事業【ICT 機器、学習ソフトの活用支援】
- ・RPA・AI 導入推進事業【最新 RPA の動向調査、標準化システムの動向調査】
- ・市役所に行かなくても手続きできる「電子申請」の開始・充実

●検証

自治体業務が複雑化・多様化する中で、質の高い公共サービスを継続するため、業務の効率化を図る取組や ICT 環境の整備、業務環境の充実を推進し、取組が一定の成果を得たと考えられます。

引き続き、デジタル技術を活用した取組を推進するとともに、更に市民が利便性向上を実感できるサービス提供が求められます。

基本的方向 2 SDGs の達成に向けた地方創生の推進

持続可能な開発目標（SDGs）は、全ての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指して、経済・社会・環境を巡る広範な課題解決に統合的に取り組むものであり、SDGsを達成するための取組が日本を含め各国で進められています。

本市においても、各施策とSDGsの各目標との関連性を明確化するとともに、地方創生の推進を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

●計画期間中に実施した主な取組

- ・各種計画の策定において SDGs の各目標との関連性を明確化
- ・SDGs 達成に向けた取組強化のための包括連携協定の締結

●検証

各種計画の策定において SDGs の各目標との関連性を明確化するとともに、包括連携協定の締結により、SDGs 達成に向けた取組の推進を図ったことで、行政施策における SDGs の視点の浸透や、多様な主体と連携した取組の推進につながったものと考えられます。

Ⅲ. 総合計画審議会による第2期総合戦略数値目標及び KPI の検証

◆ 基本目標 1 ～結婚・出産・子育ての希望がかなうまち袖ヶ浦～

結婚・出産・子育て支援の充実では、令和6年度に待機児童数が0人となり、2年連続で目標値を達成している。引き続き、市民の結婚、出産、子育てに関する希望や理想の実現に向け、切れ目のない支援施策を推進されたい。

また、学校教育の充実では、KPI が目標値を達成することができなかったため、より一層、個に応じたきめ細かな指導や支援により、一人ひとりの可能性を最大限伸ばし、地域ぐるみで生きる力を育まれない。

◆ 基本目標 2 ～いきいきと働くことができるまち袖ヶ浦～

基盤産業である工業の持続的な振興では、企業振興条例指定件数の KPI が目標値を達成しており、引き続き、企業経営の安定化、事業の高度化及び産業の振興を図るとともに、企業の新規立地や設備投資、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を促進されたい。

未来を切り拓く力強い農業の実現では、全ての KPI が目標値を達成しており、継続して、担い手の育成や農業基盤整備を進めるとともに、デジタルの視点を取り入れた、効率的な農業生産が望まれる。

就労支援による「働く場」の創出では、全ての KPI が目標値を達成しており、今後も、市民がいきいきと働き続けることができるまちづくりを推進されたい。

◆ 基本目標 3 ～訪れる人も満足できるまち袖ヶ浦～

人を惹きつける魅力ある観光・商業の推進では、特産推奨品認定数の KPI が目標値を達成しており、引き続き、豊かな自然や観光資源などを最大限に活かし、更なる地域の活性化と魅力向上につなげられたい。

人・資金の流れの強化では、ふるさと納税寄附金額の KPI が、目標値を大きく上回って達成しており、継続して、魅力ある返礼品の発掘や拡充、効果的な周知活動により、持続可能な財政運営を推進されたい。

◆ 基本目標 4 ～安心して暮らせるまち袖ヶ浦～

活発でまとまりのある都市づくりの推進では、路線バス利用者数の KPI が、目標値を大きく上回って達成しており、広く交通利便性の確保が進んでいる。今後も、集落地等の地域特性に応じた、コンパクトで良好な市街地の形成に更に注力し、集約型都市構造の構築を着実に図られたい。

健康で元気に暮らせる保健・福祉環境の整備では、日常生活のなかで意識的に運動をしている人の割合の KPI が目標値を達成することができなかったため、今後、市民一人ひとりの健康に対する意識の向上を図り、更なる支援を行われたい。

安全で安心な地域づくりでは、自主防災組織結成数の KPI が、目標値を達成することができなかったため、地域において「共助」の中核を担う自主防災組織への支援を強化するとともに、活動の中心となる人材育成等の充実を図り、地域における防災力の強化を進め、安心して暮らせるまちづくりを推進されたい。

◆ 共通の目標 1

～地域がつながり、多様な人材が活躍するまちづくりの推進～

地域コミュニティの活性化の推進では、自治会加入率の KPI が、目標値を達成することができなかったため、自治会結成の支援に加えて自治会運営の負担軽減を図られたい。

誰もが活躍できる地域社会づくりの推進では、就労マッチングによる就職者数の KPI が、目標値を達成しており、引き続き、年齢・性別・障がいの有無や国籍等に関わらず、誰もが活躍できる地域社会づくりを推進されたい。

◆ 共通の目標 2

～新しい時代の流れを力にするまちづくりの推進～

自治体業務が複雑化・多様化する中、質の高い公共サービスを継続するため、引き続き、デジタル技術を活用した業務の効率化や DX 推進に取り組み、更なる利便性の向上を図られたい。

◆ 全体総括

第2期総合戦略における4つの基本目標と2つの共通目標について、数値目標及びKPIを検証したところ、達成に至らなかった指標においても、基準値からの改善が図られたものが多く、各取組が地方創生の推進に向けて一定の成果を上げたものと考えられる。

また、人口減少への対応については、全国的に少子高齢化や人口減少が進行する中、「人口動態における社会増減数」が目標値を達成するとともに、「本市に今後も『住み続けたい』と思う市民の割合」についても目標値を上回るなど、本市の住みやすさや暮らしやすさの向上に向けた取組の成果が表れているものと評価できる。

一方で、ライフスタイルや価値観の多様化を背景に、「合計特殊出生率」や地域コミュニティへの参加に関するKPIなど、目標達成に至らなかった部分もあることから、人口減少・少子化対策や地域コミュニティの活性化などについては、引き続き重点的な取組が求められる。

総じて、第2期総合戦略期間中は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動への影響からの回復に加え、少子化の更なる進行、デジタル技術の急速な進展、物価高騰をはじめとする社会経済情勢の変化など、本市を取り巻く環境が大きく変化した期間でもあり、それらの変化に柔軟に対応しながら、地域の活力を維持・向上させていくことが、一層重要となった。

以上を踏まえ、今後も、人口減少社会を見据えながら、本市の特性や強みを活かした地方創生の取組を引き続き推進するとともに、デジタル技術の活用や多様な主体との連携により地域課題の解決を図り、持続可能なまちづくりに取り組まれない。

【別表】 数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の推移

袖ヶ浦市の人口推移

※各年10月1日時点

項 目	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1からR7までの 増加人数
総人口	64,028人	64,884人	65,254人	65,619人	65,926人	66,109人	66,036人	2,008人
年少人口(0～14歳)	8,706人	8,866人	8,936人	9,017人	9,015人	8,984人	8,872人	166人
生産年齢人口(15～64歳)	38,295人	38,673人	38,716人	38,868人	39,155人	39,207人	39,237人	942人
老年人口(65歳以上)	17,027人	17,345人	17,602人	17,734人	17,756人	17,918人	17,927人	900人

基本目標1 ～結婚・出産・子育ての希望がかなうまち 袖ヶ浦～
数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
合計特殊出生率	1.67 (H30)	1.41 ※R1参考値	1.63 ※R2参考値	1.36 ※R3参考値	1.56 ※R4参考値	1.38 ※R5参考値	1.40 ※R6参考値	1.74 (R6)
安心して子育てができると思う人の割合	73.5%(R1)	78.3%	82.4%	77.6%	78.3%	82.6%	76.9%	77.0%

基本的方向1 結婚・出産・子育て支援の充実

重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
婚姻届の件数(年間)	604件(H30)	559件	594件	523件	556件	597件	592件	700件
待機児童数(4月1日現在)	28人(R1)	60人	46人	23人	2人	0人	0人	0人
ファミリーサポートセンターの援助件数(年間)	491件(H30)	566件	617件	374件	407件	449件	424件	560件

基本的方向2 学校教育の充実

重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合	88.4%(H30)	90.2%	90.4%	89.1%	90.7%	89.9%	88.9%	90.0%
「挨拶がよくできる」児童生徒の割合	87.9%(H30)	88.6%	86.9%	88.8%	89.0%	87.3%	87.9%	90.0%

基本目標2 ～いきいきと働くことができるまち 袖ヶ浦～
数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
創業件数(年間)	8件(H30)	5件	17件	16件	27件	25件	16件	10件
新規就農者数(年間)	2人(H30)	1人	2人	4人	8人	5人	5人	2人
市内の職場が働きやすい(働きやすそう)と感じる市民の割合	47.1%(R1)	54.0%	56.0%	53.6%	54.6%	55.0%	54.3%	48.9%

基本的方向1 基盤産業である工業の持続的な振興

重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
企業振興条例指定件数(年間)	2件(H30)	4件	2件	8件	8件	8件	10件	5件
進出希望企業と土地所有企業の マッチング成立数(累計)	0件(R1)	0件	—	—	—	—	—	2件

基本的方向2 未来を切り拓く力強い農業の実現

重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
認定農業者数(累計)	159人(H30)	177人	195人	213人	222人	224人	228人	225人
地域計画(旧 人・農地プラン)作成件数(累計)	6件(H30)	6件	6件	7件	7件	11件	11件	9件
6次産業化の取組件数(累計)	5件(H30)	7件	7件	8件	9件	11件	13件	10件

基本的方向3 就労支援による「働く場」の創出

重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
就労マッチングへの参加人数(年間)	97人(H30)	1人	0人	1人	106人	210人	174人	125人
就労マッチングによる就職者数(年間)	0人(H30)	1人	0人	0人	2人	4人	11人	10人

基本目標3 ～訪れる人も満足できるまち 袖ヶ浦～
数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
年間観光入込客数(年間)	177万人(H30)	126万人	147万人	158万人	174万人	184万人	180万人	185万人
人口動態における社会増減数	—(R1)	660人	1,290人	1,756人	2,351人	2,669人	2,953人	2,500人
本市に今後も「住み続けたい」と思う市民の割合	87.0%(R1)	90.3%	84.8%	90.4%	89.2%	84.3%	90.2%	90.0%

【別表】 数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の推移

基本的方向1 人を惹きつける魅力ある観光・商業の推進
重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
年間観光入込客数(年間)	177万人(H30)	126万人	147万人	158万人	174万人	184万人	180万人	185万人
特産推奨品認定数(累計)	6品(H29)	10品	10品	10品	10品	10品	14品	10品
一店選品・そでジョブ参加事業者数(年間)	28店(H30)	22店	16店	12店	50店	13店	13店	33店

基本的方向2 人・資金の流れの強化
重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
世代間支え合い家族支援制度利用者数(年間)	14人(H30)	10人	12人	15人	12人	12人	3人	13人
ふるさと納税寄附金額(年間)	35,515千円(H30)	54,156千円	58,011千円	87,139千円	70,647千円	72,151千円	95,400千円	72,129千円
千葉県・東京都・神奈川県での市の認知度	44.1%(R1)	—	—	29.3%	—	—	43.5%	32.3%

基本目標4 ～安心して暮らせるまち 袖ヶ浦～
数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
住環境が快適であると思う市民の割合	52.7%(R1)	52.9%	49.4%	53.2%	55.9%	53.1%	52.6%	61.0%
地域で支え合って安心して暮らしている市民の割合	59.1%(R1)	61.0%	63.9%	62.3%	59.7%	61.4%	61.2%	65.0%
日頃から災害への備えをしている市民の割合	49.7%(R1)	66.2%	60.1%	65.7%	61.4%	63.8%	64.5%	60.0%

基本的方向1 活発でまとまりのある都市づくりの推進
重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
良好なまち並みや景観が形成されていると 思う市民の割合	54.8%(R1)	56.7%	56.1%	59.0%	62.4%	60.8%	59.1%	61.0%
都市計画道路の整備率	84.9%(R1)	84.9%	84.9%	85.9%	85.9%	85.9%	85.9%	86.7%
路線バス利用者数(補助路線)	176,945人(H30)	162,315人	185,006人	195,253人	208,764人	221,005人	226,945人	178,000人

基本的方向2 健康で元気に暮らせる保健・福祉環境の整備
重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
日常生活のなかで意識的に運動をしている人の割合	52.1%(R1)	52.6%	41.9%	42.5%	52.9%	43.3%	44.2%	78.0%
住民主体型サービス活動団体数(累計)	4団体(H30)	6団体	8団体	10団体	11団体	13団体	18団体	11団体

基本的方向3 安全で安心な地域づくり
重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
自主防災組織結成数(累計)	74組織(H30)	76組織	78組織	79組織	80組織	80組織	80組織	81組織
自主防災組織の設立数(累計)	41団体(H30)	44団体	42団体	43団体	42団体	44団体	43団体	46団体
交通安全教室・講習会の延べ参加者数	11,148人(H30)	3,057人	5,177人	6,525人	6,008人	6,300人	5,839人	9,779人

共通の目標1 ～地域がつながり、多様な人材が活躍するまちづくりの推進～
数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
まちづくりに関心のある市民の割合	66.7%(R1)	70.7%	60.8%	71.5%	71.2%	57.7%	67.1%	72.0%
地域活動に参加している(したことがある)市民の割合	51.9%(R1)	50.8%	50.7%	53.1%	56.0%	51.5%	48.8%	64.0%

基本的方向1 地域コミュニティの活性化の推進
重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
自治会加入率	62.8%(R1)	61.4%	59.3%	57.9%	56.7%	54.8%	54.4%	66.0%
人材活用制度の登録者の活動回数(年間)	0回(R1)	0回	0回	0回	0回	—	—	20回

基本的方向2 誰もが活躍できる地域社会づくりの推進
重要業績評価指標(KPI)の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
就労支援セミナー・相談会参加者数(年間)	17人(H30)	13人	16人	15人	7人	8人	2人	23人
就労マッチングによる就職者数(年間)	0人(H30)	1人	0人	0人	2人	4人	11人	10人
男女共同参画セミナー等の参加者数(年間)	120人(H30)	52人	520人	45人	406人	225人	280人	540人

共通の目標2 ～新しい時代の流れを力にするまちづくりの推進～
数値目標の状況

指 標	基準値	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	目標値 (R7)
ICT化により効率的な行政サービスが提供されていると感じている市民の割合	10.3%(R3)	—	10.3%	54.0%	54.4%	58.0%	58.4%	75.0%
SDGsを認知している市民の割合	—	—	—	74.9%	84.5%	81.5%	85.6%	100.0%
SDGsを実践している市民の割合	—	—	—	52.1%	67.5%	67.5%	66.2%	80.0%